

有機農業の基礎を学び、ぼかしづくりを体験してみませんか？

「おおや有機農業の学校」の内容を知りたい方、有機農業を始めてみたい方を対象に夏のオープンスクールを開催します。神戸大学名誉教授の保田 茂先生が「有機農業の考え方と方法」と題して、講義を行います。ご関心のある方は、事務局までお申し込みください。

1. 開催概要

日 時：2026年8月2日（日） 午後1時～3時30分

場 所：養父市大屋市民センター大会議室

兵庫県養父市大屋町大屋市場 20-1 TEL079-669-0120

参加費：1,000円（当日受付にてお支払いください）

定 員：40名（先着順、定員になり次第締め切ります）

2. プログラム内容

【説 明】「おおや有機農業の学校」の概要について

説明：和田祐之（おおや有機農業の学校理事長）

【講 義】「有機農業の考え方と方法」

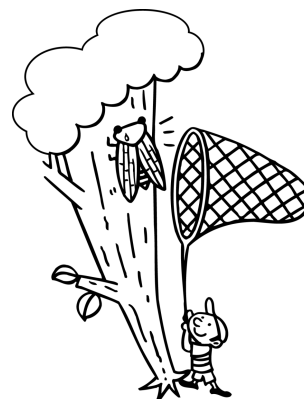
講師：保田 茂先生（神戸大学名誉教授）

【実 習】「保田ぼかし」の作り方と施用法

指導：おおや有機農業の学校指導員

【見 学】学校の実習畑の見学・説明

説明：おおや有機農業の学校指導員



3. お申し込み方法

おおや有機農業の学校事務局まで、電話またはメールでお申し込みください。

和田 祐之（わだ ひろゆき） 携帯090-3614-3272 /E-mail: hiro-w@hera.eonet.ne.jp

杉本 彰洋（すぎもと あきひろ）携帯090-3281-9269

4. 注意事項

短時間の実習で米ぬかや油かすなどを触りますので、作業可能な服装でご参加ください。

また、水分補給、タオル、帽子など、各自で十分な暑さ対策をお願いします。



保田 茂（やすだ しげる）

1939年兵庫県豊岡市生まれ。神戸大学農学部教員として、有機農業の理論構築や生産者と消費者を結ぶ提携手法などを研究。1973年に「兵庫県有機農業研究会」を設立。1980年代から兵庫県農政に深く関わり、1992年から「兵庫県環境創造型農業推進委員会会長」として、有機農業を頂点とする環境創造型農業の推進を指導。1999年に「日本有機農業学会」を設立し、初代会長に就任。2002年から「コウノトリ野生復帰推進連絡協議会会長」としてコウノトリの野生復帰を推進。現在はNPO法人兵庫農漁村社会研究所理事長として、地域農業の活性化等に関する研究と活動に従事。県内各地で有機農業教室やかまどごはん塾を実施し、有機農業や食育の推進を精力的に実施。有機農業研究の第一人者。神戸大学名誉教授。

保田ぼかし（HYS低温発酵有機資材）

保田ぼかしは保田茂先生が「天地有機」（天地に機あり、大自然には自然を壊さないで、うまく循環させる仕組みがあり法則があるとの意味）の考え方に沿って、米ぬか、油かす、魚粕、有機石灰、水を混ぜ、実践を繰り返して開発された乳酸発酵（低温発酵）の有機質資材。

おおや有機農業の学校

2011年4月に養父市大屋町で住民有志と保田茂先生の提唱で設立。毎月1回、大屋市民センターを会場に保田先生ら講師を招き、講義と実習を行っている。講義では保田ぼかしを使った有機農業の基本技術や理論、ぼかしづくり、果菜類の栽培管理、野草の効用と利用、発酵食品の効用などについて学ぶ。

